

平成15年10月22日
農 林 水 産 省

第20回牛海綿状脳症（BSE）に関する技術検討会の概要について

- 1 日時
平成15年10月22日（水）15：30～17：15まで
- 2 場所
農林水産省 第2特別会議室
- 3 会議概要
 - (1) 今回の非定型的なBSEの異常プリオンたん白質に係る遺伝子配列については、従来のBSEの異常プリオンたん白質に係る遺伝子配列と相違ないことが確認された旨報告があり、今回の非定型的なBSEについては遺伝性である可能性はないとの見解が示された。
 - (2) BSEの異常プリオンたん白質に様々なタイプがあることはむしろ自然であり、今回の非定型的なBSEについても、従来と同様の対応を行うべきとの見解が示された。
 - (3) 今回の非定型的なBSEの感染原因・感染経路に係る調査については、従来のものと同様、飼料が重要であり、9月30日に報告されたBSE疫学検討チームによる疫学的分析結果報告のシナリオにも沿って、飼料の製造から給与までの交差汚染の可能性等について精査すべきとされた。
 - (4) 今回の非定型的なBSEとイタリア及びフランスの事例との関係については、イタリアの事例とは糖鎖パターンに相違があり、フランスの事例については従来のタイプとは異なるとの見解が示され、今回の事例も含め、新たなタイプのBSEについては、諸外国や国際機関とも連携し調査を進めて行くべきとの見解が示された。
- 4 その他
 - (1) 今後の防疫対応について
患者との同居牛（別紙1）の取扱いについては、防疫対応を変更すべき新たな知見もないことから、現行のBSE検査対応マニュアルに基づき措置することとする。
 - (2) 給与飼料の調査状況について
現在までに確認されている患者に給与された飼料の概要は別紙2のとおり。なお、今後、当該飼料の製造工場への立入検査を実施することとする。

【報道に当たっては関係農家等に配慮願います。】

連絡先 農林水産省消費・安全局 電 話：03-3502-8111（代表） 担当者：衛生管理課 小倉（内線3202） 杉崎（内線3220） 03-3502-8206（直通）

平成15年11月4日

照会先：厚生労働省医薬食品局
食品保健部監視安全課

課長：南

担当：道野（内線2473）

牛海綿状脳症（BSE）確定診断の結果について

平成15年11月4日に「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」委員の検討の結果、下記の牛はBSEであるとの結論を得ましたので、お知らせします。

なお、この牛の食肉、内臓等、当該牛に由来するものは、焼却処分とするため、市場には流通しませんので、念のため申し添えます。

記

〔検体を採取した牛〕

処 理 年 月 日 : 平成15年10月29日

性 別 : 去勢（雄）

品 種 : ホルスタイン

月 齢 : 21ヶ月

飼 育 地 : 広島県福山市

スクリーニング
検査実施機関 : 福山市食肉衛生検査所

確認検査実施機関 : 国立感染症研究所

【注】当該牛の地元に対する取材には、十分御配慮をお願いします。